



平成 30 年 7 月 30 日

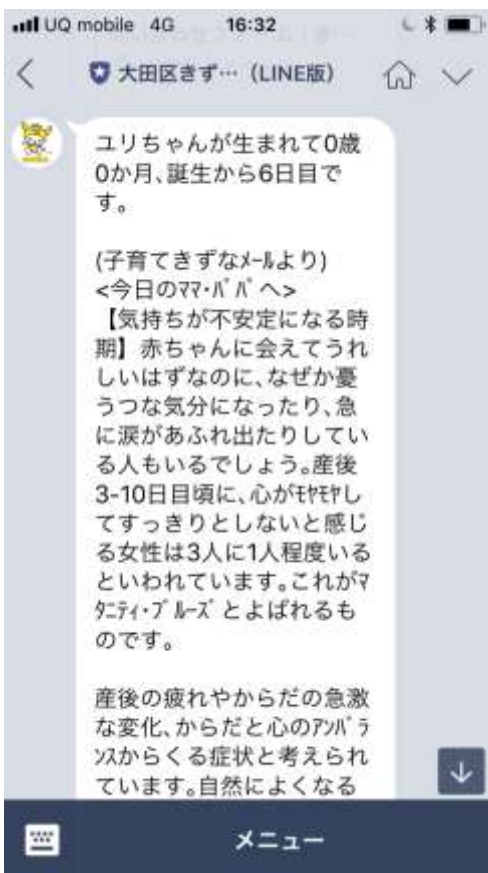
報道関係者各位

特定非営利活動法人きずなメール・プロジェクト

「大田区きずなメール（LINE 版）」の配信を開始しました。

コンテンツ（原稿）による子育て支援、乳幼児虐待予防に取り組む NPO の活動

コンテンツ（原稿）による「孤育て」予防を展開している NPO 法人きずなメール・プロジェクト（東京都杉並区）は 7 月 30 日より、東京都大田区にて「大田区きずなメール（LINE 版）」の配信を開始しました。



「きずなメール」は、妊産婦が出産予定日や赤ちゃんの誕生日を登録すると、妊娠週数や生後日数に応じて、胎児の成長の様子や育児アドバイスが 300 字前後のテキストコンテンツとして、毎日～月 2 回程度の頻度で届くサービス。団体はこれを「孤育て（孤独な子育て）」の予防に役立てるため、主に自治体の子育て応援メール事業として展開しています。

大田区は 2016 年度に「きずなメール」を導入し、「大田区きずなメール」としてメールで配信中。同区ではさらにこれを、子育て世代の使用頻度が高い LINE での配信に拡大した形です。

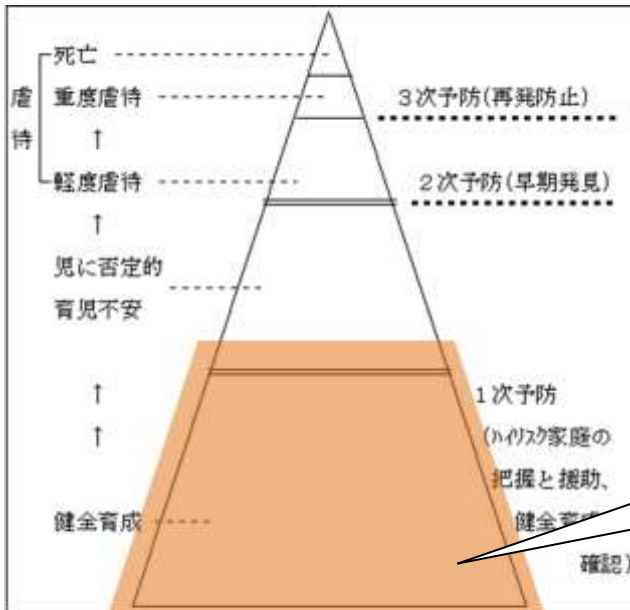
【大田区 松原忠義区長のコメント】

「きずなメールは、区の子育てサービス等の情報をタイムリーにメール形式で配信することで、出産・子育ての不安を軽減し、産後うつや児童虐待を予防する目的で開始しました。

このたび、より多くの方にご利用いただくために、情報伝達手段として若い方に利用の多い無料通信アプリ【LINE】を使った配信を開始し、メールと併用することにしました。

区は、妊娠から出産、子育て期と切れ目ない支援の充実に取り組んでいます。きずなメールが妊産婦の方やそのご家族にとりまして、大田区で安心して産み育てられるための一助となれば幸いです」

団体では、自治体や医療機関と連携しながらきずなメールを「日本中、だれでも無料で気軽に読める」形で展開していくほか、コンテンツ（原稿）による社会課題へのアプローチとして、乳幼児虐待の一次予防で活用する可能性をさらに研究していきます。



厚労省「子ども虐待対応の手引き / 第11章 関係機関との連携の実例 図11-4」

※「孤育て」とは？

夫や家族からの育児の協力が得られず、近くに助けてもらえる人もいない中で子育てをしている状態のこと。核家族化や男性の長時間労働などが背景にある。産後の女性の8-10人に1人がかかる可能性がある産後うつや、0歳児に最も多い虐待死の間接要因ともいわれている。

メールに加えて LINE で「きずなメール」のコンテンツを配信することで、乳幼児虐待一次予防の可能性を探っていく。

【プレスリリース・取材に関する お問い合わせ先】

NPO 法人きずなメール・プロジェクト 担当：増田ふみこ

電話 03-6317-5575

inquiry@kizunamail.com

〒166-0001 東京都練瓦区阿佐谷北5丁目1-5-301